

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2470200888
法人名	有限会社 日本サポートリンク
事業所名	色えんぴつのグループホーム
所在地 (電話番号)	四日市市赤堀1丁目6番2号 (電話) 059-350-4165
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 8 月 13 日(水)

【情報提供票より】 (H20年7月10日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 14 年 10 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4人, 非常勤 5人, 常勤換算 5.8人	

(2)建物概要

建物構造	スチール 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	23,000 円
敷 金	有(30,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500円		

(4)利用者の概要(7 月 10 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1	3 名	要介護2	2 名			
要介護3	2 名	要介護4	1 名			
要介護5	1 名	要支援2	名			
年齢	平均	84 歳	最低	78 歳	最高	94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	南浜田クリニック 大久保歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所の横にあった水田も埋め立てられマンションが立ち、少しずつ事業所の周りも住宅地になってきた。南面に木や花のある庭があり、その向こうに併設のデイサービスがある。地域性から近所住民との交流も少なかったが、運営推進会議の影響もあり挨拶や野菜をもらう等、普段着の交流ができるようになってきた。事業所として利用者と職員のなじみの関係作りを重視しており、ここ2年は職員の離職もなく、気心の知れた温かい笑顔のある家庭的な雰囲気のある事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回調査の改善課題については全職員で取組んでおり、一部の未改善項目もあるが、できる課題から改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者はじめ職員は自己評価の意義、目的をよく理解し、種々改善にも取り組んでいるし、自己評価への取り組みも全職員で取組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>現在までに2回開催され、今年の秋に3回目の開催が予定されている。地域の中での事業所のあり方や認知症関連で地域で助け合える取り組みについての話し合いがなされているが、開催回数が少ないので、会議参加メンバーからの質問や意見が気楽に出るような身近なテーマづくりもされ、2ヶ月に1回程度は開催するよう努力されることを期待する。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご意見箱を置いたり、家族の面会時に意見を吸い上げる努力をしているし、事業所での1日の様子が一目でわかる「お手紙」を毎月発行し、家族との意思の疎通を図っている。将来的にはホーム便りの発行の計画もあるので期待する。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会や老人会に加入させてもらえないという地域性もあり苦労しているが、自治会長が運営推進会議のメンバーに入っていたりしているのは大きな前進であり、近所の人とは挨拶や野菜をもらったりの普段の交流が出来てきているので、更なる地道な交流を継続されることを期待する。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	設立当初からの「いつでも、どこでも、私らしく」を理念として掲げている。この「いつでも、どこでも・・・」には「どこの地域でも」の意味もあることを確認しており、地域の中で暮らし続けることを支える事業所を目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員とも介護するときや意見が異なるとき等、理念を念頭に話し合いをしており、意思統一も図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加したり、近所の方とは挨拶や野菜をもらったりの普段の交流もあるが、自治会や老人会へは参加していない。	○	自治会や老人会へ入れてもらえないという地域性もあり苦労しているが、運営推進会議のメンバーとして自治会長が出席されていることは大きな前進と考える。引き続き事業所行事への積極的なお誘いや、自治会行事への継続的な参加を続けることで、地域との交流を図っていかれることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の指摘事項については職員全員で改善に取り組んでいるし、自己評価への取り組みも、管理者、職員全員で行っている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在までに2回開催され、今年の秋に3回目が予定されている。地域の中での事業所のあり方や認知症サポーター養成講座に関連し、地域で助け合えるには…等の地域でできる取り組みについての話し合いがなされている。	○	運営推進会議のテーマとして、事業所の実情やケアサービスの取組状況等、参加メンバーからの質問や意見、要望が気軽に出るようなテーマづくりもされ、2ヶ月に1回程度は開催するよう配慮されることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは施設長が気軽に行き来できる関係作りをしており、困難事例の相談等もしている。	○	事業所は地域の中でも認知症ケアの拠点であり、それを生かした地域貢献や事業を行っていく上での課題解決にも市の理解や支援を必要とすることが多く、更なる積極的な市との連携を期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に日常の様子の報告をしているし、毎月1回利用者ごとの手紙(生活の様子、食事の様子、お休みの様子、排泄の様子等事業所での様子が一目でわかるもの)を送っており、利用者家族からも詳細は知らせてもらっているとの言葉もある。又将来的にはホーム便りも考えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「苦情箱」も設置しているし、家族面会時の会話の中から意見の吸い上げをしている。家族からは気軽に意見をもらっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	併設のデイサービスとは外出や各種行事を一緒にする等、事業所として利用者と職員の馴染みの関係づくりを重視している。職員の離職もここ2年ほどなく定着している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市や三重県社会福祉協議会、グループホーム連絡協議会等の研修情報は入っており、パート職員も含め誰でも受けることができる。本人の自主性にポイントを置いているが、重要な研修へは業務出張で受講できるようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の施設部会に参加しているし、施設長がグループホーム連絡協議会の実行委員にもなっており、勉強会への参加や情報交換で協力関係づくりに努力している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービス利用者の入所の際、非常にスムーズに場の雰囲気馴染めた経験がある。馴染みながらのサービスの利用を目指し、併設のデイサービスの充実を図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	何でも一緒にすることを大切にしており、家事やレクリエーションでも、お互いに相手の思いが分かるようになり、昔の道具やしきり等教えてもらったり、いたわってもらったりする関係もできている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わり合いの中で、できるだけ一人ひとりの思いや希望を見逃さないよう努力している。また希望や思いを自分から話さない利用者には、家族の意向も交えながら本人本位に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の利用者本人や家族の気持ちの聞き取りから、月1回のカンファレンス会議で職員全員で意見を出し合い、介護計画書を作成している。また家族や主治医、かかりつけ薬局の薬剤師に協力を得ながら作成することもある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態に変化がある場合、随時見直しはもちろん、状態の変化のない利用者でも毎月1回職員全員でモニタリングし、3ヶ月に1回定期的に見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の体調に応じ、家族と相談しながら、お墓参りや自宅へ戻ったりと利用者の行きたいところへの外出支援をしている。また地域の人権学習で認知症講座を引き受ける等、事業所の多機能性を生かした支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人の希望するかかりつけ医に受診しており、かかりつけ医との良好な関係作りを支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に癌の末期者のケアをした経験があり、入所時に事業所としてできる、重度化や終末期の対応方針を本人や家族に伝え相談している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーを傷つけないよう、全職員が常に心がけている。特に申し送り時の利用者の個人情報については他の利用者には聞こえないよう事務室で行うなど気配りしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々々の利用者本人の気持ちを大切に、選択肢を示し選んでもらう等、何をすることも利用者一人ひとりのペースに合わせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
		○食事を楽しむことのできる支援			
22	54	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や簡単な下ごしらえ、配膳、片付けはできる人が手伝っており、利用者と職員と一緒に食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援			
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は毎日入浴できるようにしている。利用者一人ひとりの希望に合わせてはいるが、ほとんどの利用者が午後の入浴になっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
		○役割、楽しみごと、気晴らしの支援			
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	特に役割分担ができてはいるわけではないが、カレンダーを取り替える人、お天気カレンダーをつける人、草抜きや水遣り等利用者一人ひとりの得意なこと・できることをしてもらっている。		
25	61	○日常的な外出支援			
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出にも介助が必要な方がほとんどであるが、天気の良い日には家族の協力を得ながら外出・外食したり、遠くに出られないときは近所の散歩や庭に出たりして外の空気に触れるように工夫をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
		○鍵をかけないケアの実践			
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員が鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵は掛けていない。		
27	71	○災害対策		○	災害はいつ起こるかかわからず、自分で避難することのできる利用者が少ない現状では、職員による避難誘導が最重要になってくる。利用者を交えた訓練ができない場合は、職員だけの机上訓練からスタートしても良く、いざというときに慌てず確実に避難誘導ができるよう備えていかれることが望まれる。
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難訓練の必要性を認識しているが、避難訓練は未実施である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人関係者に栄養管理士がおりバランスチェックはしているし、摂取量も把握している。水分は自由に飲めるようにしており、夜間はペットボトルを利用し摂取量も確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁には職員と利用者の合作の作品が掲示しており、テーブルはその時々好きな場所に座ってよいことになっており、自分なりの居心地の良い場所を確保できるようにしている。食堂と調理場が一体になっているので、調理をする職員と話しながら時間を過ごすことができる。また天井の天窓からの日差しも明るく、季節を感じる空間づくりがされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全て自宅で使っていた馴染みのものを持ち込んでいる。自分の作品や写真、趣味のお料理の切抜き等で壁を飾ったりと、利用者一人ひとりが自分の部屋づくりをしている。		